

No.142



2017.Spring

〒840-0054 佐賀市水ヶ江3-1-25 電話 0952-24-2244 FAX 0952-24-3828 URL <https://www.sagaryukoku.com/>

平成28年度 佐賀県高等学校サッカー新人大会優勝!
九州大会ベスト8!!



平成28年度卒業生特別賞受賞者



入 学 式

建学の精神と 創立140周年に向けて



理事長

2017年4月に理
事長に就任しました篠
塚周城

篠

塚

周

城

校長

喜多秀哉



先日テレビで、この春入社した新入
社員の何割かは「朝が早い」「新人研
修で詰め込まれたものの一気に覚えら
れない」「上司から叱られる訓練から
始まつた」などの理由で辞めたいと思つ
ている、というアンケート結果が放送
された。希望に満ち溢れ、就職活動を
重ね続けようやく掴んだ就職だつたは
ずなのに入社してすぐにそう思う人が
増えてきたという。

仏教には「一切皆苦」という言葉が
あり、私たちの人生は決して思い通り
にならないと伝えられている。時には
病に苦しみ、別れに苦しみ、そして最
後はいのち終わつていかねばならない。
これから的人生、順調な時ばかりでは
ないからこそ、困難に立ち向かう力強
さが必要になつてくる。本校でも25名
の中学生と228名の高校生が入学してき
た。この龍谷キャンパスで力強さを養
うべく、建学の精神（仏教精神）を礎
にして、勉強、スポーツにしっかりと励
みながら自然に春の訪れを知らせる。
私たち人間と全く違つてゐるなと思う。
私たち自身ががんばつてゐるよ、
自分が一番だよ、とついつい言いたく
なる。自分ががんばつてゐることをど
うしても認めてもらいたくて誇示する。
そして、時に他人を馬鹿にしたり、悪
口を言つたりもする。相手を認めるこ
とができる、受け入れることができな
いこともある。人と比べ、争い、時に

頑張りに期待します。

現在の世界は、高度な技術の発達と
国際化の中で、必要とされる知識・技
術が飛躍的に増加するとともに、その
知識や技術を活用する人間のあり方が
さらに厳しく問われる時代へと突き進
んでいます。そうした時代にあつて、
本学の建学の精神を踏まえ、生徒と教
職員がともに学びを深め、学んだこと
を実践する力をいつそう進化させてお
ります。

私は、長年政治の世界で仕事をして
きましたが、本学の持ち味を伸ばしつ
つ、地域との連携を深め、なくてはな
らない人材の育成に全学一体となつた
実践を進めて参ります。

来年は、本学園創立140周年を迎ま
す。そのために、伝統を踏まえ、さら
に発展するように心を合わせて、この
1年を盛り上げていきたいと思ってい
ます。

篠塚周城（しのづか・ひろき）です。
佐賀龍谷学園は、1878（明治11）
年に創立され、佐賀県では現在の佐賀
西高等学校に次いで二番目に古い歴史
と伝統のある学園であります。それが
現在に至るまで、親鸞聖人のみ教え
を建学の精神として、幼児から中学校・
高等学校、そして短期大学まで、人材
育成に力を注ぎ続けて参りました。
その根底には、創立以来139年にわたつ
て築き上げた仏教、特に浄土真宗のみ
教えを基本とした「こころの教育」の
実践があります。

現在の世界は、高度な技術の発達と
国際化の中で、必要とされる知識・技
術が飛躍的に増加するとともに、その
知識や技術を活用する人間のあり方が
さらに厳しく問われる時代へと突き進
んでいます。そうした時代にあつて、
本学の建学の精神を踏まえ、生徒と教
職員がともに学びを深め、学んだこと
を実践する力をいつそう進化させてお
ります。

私は、長年政治の世界で仕事をして
きましたが、本学の持ち味を伸ばしつ
つ、地域との連携を深め、なくてはな
らない人材の育成に全学一体となつた
実践を進めて参ります。

来年は、本学園創立140周年を迎ま
す。そのために、伝統を踏まえ、さら
に発展するように心を合わせて、この
1年を盛り上げていきたいと思ってい
ます。

雨水を過ぎた頃から、凜とした梅の
花がほころびはじめ、ふんわりと春の
香りを運んでくる。日本人にとつて花
と言えば桜かもしれないが、私は梅が
大好きだ。そのかたい蕾のなかに花を
守り、一番寒い時期を耐え、どの花よ
りも先に花開き、私たちに春を告げて
くれる。梅の花が「百花の魁」（さきがけ）
plum-tree is the first tree to blossom
と呼ばれるゆえんだ。「百花の魁」
を調べてみると、「梅が寒さが厳しい
中に、その年のどの花よりも先だつて
咲くことをいう。また、特にす
ぐれた人物は多くの人が世に出
る時期に先駆となつてゐること
をいう。」とある。

風や雪をじつと堪え忍び、ふ
わっと笑顔がほころぶように蕾
を開かせる。他の花と争うわけ
でもなく、力んでいるわけでもなく、
ごくごく自然に春の訪れを知らせる。
私たち人間と全く違つてゐるなと思う。

私たち自身ががんばつてゐるよ、
自分が一番だよ、とついつい言いたく
なる。自分ががんばつてゐることをど
うしても認めてもらいたくて誇示する。
そして、時に他人を馬鹿にしたり、悪
口を言つたりもする。相手を認めるこ
とができる、受け入れることができな
いことがある。人と比べ、争い、時に



はおとしいれ、上に這い上がつていこ
うとする。そのパワーも大切なのかも
しない。しかし、争わず、力まず、
ただただ己の体にある花を開かせるた
めに、寒さに耐え忍び、自ずからその
花を開かせる、その梅の姿こそ、私た
ちが求めていくべき姿ではないだろう
か。「自ら」ではなく、「自ずから」。
真理を追求したり、一つの道を究め
ていくことは困難がつきものだ。しか
しそれでも、自分を信じ、静かに自分のすべき
ことを正しく行えれば、どんなに苦しく
とも辛くとも、自ずから花を咲
かせるときがくるはずである。

人をおしのけるわけでもなく、
争うのでもなく、努力をみせつ
けるのでもなく、自分が信じて
やつてきたことが、自然に人に
認められる。そんな人間に私は
なりたいし、そういう生き方をしたい。
が、なかなか難しいのだ。そしてまた、
龍谷で学び、巣立つていくすべての子
ども達がそんな人間になつてほしいと
心から願つてゐる。（文責 不二見）

旅立ちの日に



卒業、おめでとう! ~

3月1日(水)、本校の卒業証書授与式が挙行され、卒業生295名が凜とした姿で式に臨みました。式は仏式によつて行われ、仏前奉仕員(龍谷中学生)の献灯献華献香など、保護者、来賓、教職員が見守る中、行されました。式の最後は校歌斎唱で閉じられました。式後は在校生の祝福を受けながら、最後のホールームと、心に残る一日になりました。

卒業生の皆さん、上級学校、就職と、それぞれに進む道は違いますが、新たな目標に向かつて、粘り強く歩まれることを願つています。
(文責 林)



特別賞		
知事賞	鶴丸	真由(③龍谷)
本願寺賞	江頭	希(③川副)
私立中高連賞	井口	温志(③龍谷)
佐賀教区賞	龍	(③城東)
振風会賞	松江	浩平(③龍谷)
保護者会賞	江口	祐翔(③多々中央)
勝友会賞	丸石	昂紀(③諸富)
"	福田	(③城西)
"	合瀬	海帆(③龍谷)
白武	渕	(③三瀬)
後川	亮人	(③白石)
坂田	友貴	(③北方)
野中	康季	(③龍谷)
満生龍之介		(③龍谷)
廉也		(③千代田)

入学式

四月七日

近年では珍しく、門出を祝うかのように桜が満開となつた4月7日、高校生228名、中学生25名が清新しい制服に身を包み、入学式を迎えました。浄土真宗本願寺派の総長様、今年度より理事長に就任された篠塚理事長から温かい祝辞をいただき、新たに龍谷生としての一歩を踏み出しました。それぞれ三年間、六年間、自らの道をしっかりと自分の足で歩んでください。

ようこそ龍谷へ!! 入学おめでとうございます。

(文責 不二見)



ドキドキワクワクの5日間



2月12日(日)～16日(木)の間、2年生は、国内と海外の2班に分かれ、研修旅行に行きました。国内コースは、築地本願寺参拝、新潟でのスキー研修、東京ディズニーランドでの自由研修、スカイツリー見学を楽しみました。海外コースは、シンガポールを訪れ、ブローザー＆シスタープログラム（現地学生との班別自主研修）を行いました。その中で、シンガポールの交通機関の利用の仕方について英会話を使いながらやさしく教えてもらい、行動する中で歴史、文化などについて学び、シンガポールとの友情を培いました。

(文責 林)



ヨーロッパの記者との国際交流

3月9日(木)外務省主催外国報道関係者招へい事業の一環として、中東欧の記者6名が龍谷中学校・高等学校を視察され、中学1年A組と高校1年C組（Ecole特別進学コース）の生徒たちとの交流を深められました。中学校では、クイズやスピーチ、班ごとの交流、剣道演舞、書道体験など英語を用いてとても楽しい交流ができました。高校では、班ごとに「ストップ地球温暖化」「災害と食料の危機」「文化の違いをふまえたグローバル・コミュニケーション」などをテーマにしたプレゼンをした後、記者の方々とともに討論をしました。高校生として高い英語力を示すことができ、自信となつたようです。今回の訪問は、本校が目指すグローバル人財育成の面からも大変実りの多いものとなりました。

(文責 陣内)



「学生時代に身につけておくべきこと、社会人としてあるべき姿」
向井昭吾氏講演会

冬に舞い戻ったかのような寒さを感じた3月8日、現在コカ・コーラウエストジャパンCSV統括部担当部長であり、元ラグビー全日本代表選手から全日本代表監督を経て、コカ・コーラウエストジャパンの監督を務められた向井昭吾氏をお招きして講演会を行いました。学生と社会人の違いや、身につけておるべきことを向井氏のご経験を通じてお話ししていただきました。
最後に、「今を一生懸命生きること」、「何か心にひつかかるものを考えて目標をもつこと」、「自信を持つて人生に挑戦してほしい」、「失敗して経験を積んでほしい」という温かく、厳しいメッセージをくださいました。生徒達の感想のなかに、「オーラが違った」、「自分たちがどれだけ甘かつたかがわかつた」、「マインドセットの意味と大切さがわかつた」などがあり、特に部活動生は様々なことを考えたようです。教員のなかにも、「初心に帰れた」、「自分の原点を思い出した」という感想がありました。
「世界」を見てきた方とふれあい、何か少しでも受け取るものがあり、何かのきっかけになってくれることだと思います。

(文責 不二見)



文理進学コース 英語研修 in ハウステンボス

文理進学コースでは1年次に街頭英語、2年次にシチュエーションイングリッシュという英語研修をハウステンボスで行っています。教室ではなかなかチャレンジできない英会話も、異国情緒あふれるハウステンボスでならどうやら気持ちも大きくなるようで…。

すき焼きの説明を、日本語英語混じりで説明したり、単語を一生懸命並べて会話をする様子がとてもほほえましく見えました。

(文責 不二見)



飛躍の春に向けて

～豊かな心と高い学力～

中学校

風にもマケズ 寒さにもマケズ

～ジョギング・マラソン大会～



12月10日(土)、毎年恒例であるジョギング・マラソン大会を開催しました。前日は雪も舞うような空模様でしたが、幸運にも当日は穏やかに晴れ、絶好のマラソン大会日和となりました。

佐賀空港から学校までの約10キロが例年のコースで、校長先生からの激励の言葉の後、副校长先生の弓砲の合図で、中学生たちは元気いっぱい「ホール目標して走り出しました。

今回は、飛び入りで6年生の花山幸樹君(高校3年・龍谷中出身)も参加してくれ、中学生たちは先輩に負けるものかとより一層頑張っていました。なお今年の男子1位は3年生の内場信仁君(46分39秒)、女子1位は1年生の塚本千尋さん(1時間3分9秒 下妻小)でした。

終了後は食堂で保護者の方も一緒に昼食を食べ、和気あいあいとした雰囲気の中でお互いに交流を深めました。

(文責 小川)

畠の上の真剣勝負！百人一首カルタ大会

1月10日(火)、佐賀城本丸歴史館にて中学生と高校1年特進コース合同の百人一首カルタ大会が行われました。4、5名からなるチーム対抗戦で、緊張感ある白熱した雰囲気の中にも、私が詠まれるたびに歓声が響くにぎやかな会となりました。

優勝は中学1年4名からなる「ゆらし〇〇E」チームで、佐賀県カルタ協会から賞状とトロフィーが贈呈されました。リーダーの北村彩華さん(①北川副小)は、「年末からチームのみんなと毎日練習していたので、優勝できることも嬉しい」と笑顔で話していました。なお北村さんは個人でもMVP賞を受賞しています。普段あまり接すことのない高校生ともカルタを通じて交流ができ、有意義な時間を過ごすことができました。

(文責 小川)

学校のリーダーが決まりました

嘉村新会長率いる新生徒会、発足！

＜新生徒会役員＞

1月21日(土)、生徒会新旧交代式が行われ、新しい生徒会役員が正式に決定しました。

以下は新生徒会のメンバーです。生徒会長に就任した嘉村

ありさん(②赤松小)は、「校内の美化やボランティアに力を入れ、改善できるところは改善して、よりよい龍谷

中学校を作つていきたい」と意気込みを新たにしていました。学校を引っ張っていくリーダーとして、今後の活躍に期待します！

(文責 小川)

学習部長	副部長	保育部長	副部長	文化部長	副部長	厚生部長	副部長	宗教部長	副部長	生徒会会長	嘉村ありさ(②赤松小)
福田	藤戸	原	藤生	大坪	河野	中牟田	吉田	鬼塚	菜穂	岡田	真依(②附属小)
				咲月(①西川副小)	亞海(②柳河小)	青空(①循誘小)	清哉(①東与賀小)		康晴(①弥生が丘小)	永安樹子(②三田川小)	
				北村	中牟田	吉田	愛(②大詫間小)		菜穂(②中川副小)	真依(②北川副小)	
				中村	富崎	俊介(②合川小)				北川	
				藤生	大坪	一華(①赤松小)				彩華(①北川副小)	
				一華(①赤松小)	咲月(①西川副小)	正博(②赤松小)				七海(②千代田東部小)	
										舞(①有田中部小)	





「声優特別講座」を実施！

表現力向上を目的とした、「声優特別講座」(今年度4回目)を1月14日(土曜日)に行いました。

俳優・声優・ナレーターとして活躍されている二橋康浩先生を講師にお迎えし、プロのテクニックを学ぶ機会を得て、とっても良い刺激になりました。

TEL 0942・85・1121
鳥栖市

九州龍谷短期大学

学園だより



御正忌報恩講、メモリアルコンサートなどを行いました。

1月21日(土)短大の振風講堂にて、親鸞聖人のご遺徳をしのぶ御正忌報恩講と、本学関係物故者追悼会を行いました。また、吹奏楽部による「メモリアルコンサート」も行われ、2年生最後のステージを素晴らしい演奏で締めくくりました。

佐賀龍谷学園が設置する学校（短大・高校・中学）に、兄弟姉妹が一人以上在籍する場合、二人目以降のお子様の入学金が減免されます。
詳しく述べは、各学校事務室までお問い合わせください。

(文責 熊谷)

幼保連携型 認定こども園

九州龍谷短期大学付属

龍谷こども園



園庭にて(0歳児)
「靴を履いて外で遊んだよ！」

幼稚体育で本庄公園(くじら公園)へ(5歳児)
「みんな一緒に楽しく遊んだよ」



チューリップの芽が伸びて伸びているよ！

春の日差しの中で
のびのびと
成長しています
しっかりと
芽吹いています



ままごと遊びが続く今頃。。。(3歳児)
「ねえ、かして」「いいよ！」



お友達と一緒に(2歳児)
「みんな、たのしいね！」



避難車に乗ってあんぼ(1歳児)
「お外きもちいいね」



ままごと遊びが続く今頃。。。(3歳児)
「ねえ、かして」「いいよ！」

佐賀龍谷学園創立140周年記念事業へのご寄付のお願い

佐賀龍谷学園は1878(明治11)年に創立し、2018(平成30)年に140周年を迎えます。そこで龍谷こども園・龍谷中学校・龍谷高等学校・九州龍谷短期大学の教育環境の整備・充実のために記念事業を推進して参ります。この事業を実行するにあたり、皆様にご寄付のお願いをしております。これまでに多くの皆様のご協力をいただき心より感謝申しあげます。

今後も引き続きご支援をいただきますようお願い申しあげます。

※ 詳しいことは学校法人佐賀龍谷学園法人本部までお問い合わせいただくか、本校のホームページでご覧ください。